



横浜訓盲学院 だより

第43号 (2018年7月号)

2018年6月28日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

代表 TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 E-mail : jimu@kunmou.jp

普通部 (直通) TEL/FAX:045-662-1710 療科 (直通) TEL/FAX:045-662-1833

幼稚部を日本で初めて設けた横浜訓盲学院



学院長 中澤 恵江

全国の盲学校の幼稚部の有無および設置年度に関する調査が先日行われました。日本で初めて幼稚部(初等部予科)を設置した盲学校は横浜訓盲学院でした。1924年(大正13年)のことです。関東大震災の起きた翌年です。

二番目に幼稚部を設置した盲学校は京都府立盲学校で、1952年(昭和27年)でした。その実現には戦後の大きな教育制度改革と28年の歳月が必要でした。その後ゆくりと幼稚部は設置されましたが、幼稚部を設けていない盲学校が今も9県にあります。

改めて訓盲学院の歴史を記した書物を調べると、設置を牽引したのは、学院の三代目学院長、若き日の今村幾太先生です。自身の子育てから、幼児教育が及ぼす影響の大きさを実感し、「盲幼児にも」ではなく「盲幼児だからこそ」必要であることを確信し、

成人を対象とする盲教育から盲児教育へ方針を転換しました。

しかし、盲幼児をもつ家族を見つけることも、またその家族を説得して盲幼児教育を受けることにつなげるにも多大な苦勞があったようです。盲幼児がいるという情報が入れば、箱根の山奥まで訪ねたりしたそうです。家族の多くは貧困でもあり、眼の治療に必要とした高額な医療費もその原因であったと記してあります。そのような場合は、盲児の生活の場も提供していたことが記されています。

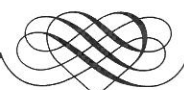
大正時代の盲児のいる家族の様子と、その当時今村幾太先生が自作した盲幼児歩行補助具の写真を紹介します。改めて本学院が依って立つ精神とそのルーツに深く思いを馳せる契機となりました。



盲児の家族(大正時代)



盲児用自作歩行補助具



「喜ぶ人と共に喜びなさい」

ローマの信徒への手紙12章16節

《7月の聖句》人の喜びを共によろこびましょう。

4月9日

2018年度入学式



2018年4月9日(月)、暖かく春の香りが満ちあふれ、抜けるような青空の下で入学式が執り行われました。今年度は幼稚部2名、中学部1名、高等部3名、専攻科保健医療科1名、計7名の新生生と、小学部への転入生2名の新しい仲間を迎えて新年度を迎えることができ、多くの仲間と知り合えたことに感謝いたします。

式典では、新しい環境の中で少し緊張した様子もみられましたが、中澤恵江学院長から新生生一人一人に温かい歓迎の言葉をかけられ、緊張した顔も次第に笑顔に変わっていき、元気よく大きな声で挨拶してくれました。新生生たちは学校生活に大きな期待と希望を胸に抱き、新しい仲間と共にスタートを切ることができたのではないのでしょうか。これから多くのことを経験し、共に学び、成長していけることを願います。新しい学校生活を築いていくことの大切さを感じた1日でした。



5月11日

幼小 体験学習



野毛山動物園に行ってきました!

5月11日(金)、今年度も野毛山動物園へ体験学習に行ってきました。天候にも恵まれ、1日ポカポカ陽気の中、園内を散策し、動物とふれあう体験ができました。レッサーパンダやライオン、トラなどを近くでじっくり見ていた子どもや、突然目の前で動物が動き出してびっくりしていた子どもなど、それぞれの表情をみせて、楽しんでいました。なかよし広場ではモルモット、ハツカネズミ、ニワトリに触れる体験をしました。みんな優しく動物に触ることができていました。



動物に触る体験をした後は、みんなでお昼ご飯&おやつタイム!みんな美味しそうに食べていました。おやつタイムでは、お友だち同士や先生とお菓子の交換をしている人もいました。1日みんなで楽しい時間を過ごすことができました。

臨床実習のご案内

当学院の理療科では、授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧および、はり・灸の臨床を行っています。是非ご利用下さい。

★あんま・マッサージ・指圧・はり灸★
[水・木・金曜日]

料金 一律 1000円 時間 前半10:00~(各50分ずつ) 後半11:00~



◆ご予約はお電話で! 当日の朝 8:50~9:15
電話 090-9009-5882

◆お問い合わせは理療科まで
電話 045-662-1833

視覚障害

ミニ知識

「ブラインドサッカー」

ブラインドサッカーは、視覚障がい者と晴眼者がチームを組みフットサルのルールを基本とした5人制のミニサッカー競技です。チームは4人のフィールドプレーヤーとゴールキーパー、監督、コーラーの7人で編成され、ゴールキーパーと監督、コーラーは晴眼者

がつかめ、声を使って選手たちをサポートします。

フィールド選手は、視覚の見え方に個人差があるため全員アイマスクを着用します。使用するボールは転がると音が出るようになっていて、選手は音で位置や転がりを判断します。また、ボールを持った相手に向かっていく時は、必ず「ボイ」と声を出し、選手の存在や危険を知らせなければいけません。

コーラーは敵陣ゴール裏に立ち、攻撃場面では選手に「3m、45度、シュート」というように、ゴールの位置と距離、角度などを的確に伝えるガイドをします。監督はフィールド選手への指示を声で伝えます。ゴールキーパーもゴールを守るだけでなく、試合の状況などをつねにフィールド選手にガイドする役割も兼任しています。

サッカー技術はもちろんですが、選手間のコミュニケーション、声や音が手掛かりとなるスポーツのため、プレー中は静かに観戦するのがマナーとなっています。



5月16日

中高部 春の遠足



中高部の生徒9名が5月16日(水)に八景島シーパラダイスへ春の遠足に行ってきました。当初予定していた9日は雨天のため、1週間遅れての実施となりました。生徒たちは、これまでしおり作りやアトラクションの写真カード作り、iPadを使って動画を見て事前学習に取り組んできました。乗りたいアトラクションは自分たちで選び、チケットを買うお金の勉強も行いました。

当日は晴天に恵まれ、一番良いコンディションで遠足を迎えられました。生徒一人ひとりの歩くペースや、じっくりアトラクションの動きを見てから乗り物を決める生徒など、それぞれ違いがあるなかで、お互いのペースに合わせながらグループみんなでのんびりと楽しみながら園内を移動することができました。アトラクションの後は、周遊バスで園内を移動して芝生の上にブルーシートを敷いてお弁当を食べました。生徒たちが一番楽しんでいたことは「お菓子」交換です。それぞれ好きなお菓子を持ち寄り友だち同士で交換会を行いました。のんびりゆったり中高部らしい遠足を終えることができました。

5月26日

運動会



5月26日(土)、晴れやかな天候の下運動会が行われました。今年も各部が頑張って練習してきた成果が発揮されました。

幼小グループの「シャラララ〜ドラえもん、ドラミちゃんといっしょにおどろろ〜」では、それぞれがドラえもん、ドラミちゃんになった可愛い衣装が、映えていました。小学部の「ケラケラじゃんけん小学部」では、グーチョコキパーそれぞれのグループがカラフルなフラッグを持って、元気よく踊っていました。中学・高等部の「Together ～輪になろう～」では、リングを持ち全員の息が合った演技が見事でした。生活科の「ハリーポッター 4人の魔法使い」では工夫を凝らした素晴らしい演技が見られました。また、理療科の鉄線走では、生徒たちをはじめ、新任の先生、ボランティアの学生さんたち、卒業生などによる本気の走りを、手に汗握り応援する声で会場は大盛り上がりでした。

活気と意欲に溢れる運動会が実施できたこと、皆様のご協力があったからこそと感謝申し上げます。ありがとうございました!



心身一元論と心因性腰痛

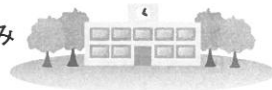
東洋医学の有名な言葉である「心身一元論」とは、「心と体はひとつ」という意味です。東洋医学では、心と体はお互いに影響し合い、心が乱れると体の疲れや体調不良にもつながると考えられてきました。一方、西洋医学では心と体は別(心身二元論)と考えられてきました。

しかし、最近では、長引く腰痛にも精神的ストレスが原因のものがあることが分かり、これは心因性腰痛と呼ばれ、注目されています。腰痛は原因が特定している「特異的腰痛」と、原因がはっきりしない「非特異的腰痛」に分けられますが、心因性腰痛は、原因がはっきりしない非特異的腰痛の中でも強い精神的ストレスが原因となっているものと考えられています。

整形外科的な問題が原因と考えられてきた腰痛にも心因性のものがあることが分かり、やはり、人間の心と体は「ひとつ」なのだと感じます。疲れた時、ストレスの発散は大切です。楽しいこと、幸せなこと、心と体を緩ませるようなリラックスした時間を取るよう心がけ、心身ともに大切に生きていきたいものです。

◎2018年度の主な行事予定◎

- 7月 23日(月)～8月24日(金) 夏休み
- 8月 27日(月) 授業開始
- 9月 7日(金) 幼小グループ 秋の遠足
19日(水)～21日(金) 中学部 修学旅行
26日(水) 創立記念日(創立129周年)
29日(土) 学校開放(移動動物園)
- 10月 5日(金) 前期終業式
9日(火)～10日(水) 秋休み
10日(水) 理療科 遠足
11日(木) 後期始業式
16日(火)～17日(水) 高等部 修学旅行
18日(木)～19日(金) 生活科 研修旅行
19日(金) 幼小グループ・小学部 合同遠足
24日(水) 中学・高等部 秋の遠足
24日(水)～25日(木) 小学部 修学旅行
- 11月 2日(金) 普通部 学校公開(2回目)
理療科 解剖見学
3日(土) 保護者参観日
17日(土) PTAバザー
- 12月 1日(土) 普通部 第1次入学検定
13日(木) 理療科 オープンキャンパス(2回目)
15日(土) 神奈川県盲学校サウンドテーブルテニス大会
22日(土) クリスマス礼拝・祝会
26日(水)～1月7日(月) 冬休み



2017年度(平成29年度)

賛助金・寄附金並びに寄贈品・ご招待等の御礼

平素より、本学院の視覚障害教育にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)における皆様からの賛助金・寄附金並びに各種ご招待等は、下記の通りとなりましたので、ご芳名を掲げ感謝申し上げますとともに御礼申し上げます。

〔賛助金〕ご芳名(50音順、敬称略)

(個人)

阿佐光也、楠木勇、荒井勝彦、菅岐良夫、石井和子、井田洋一郎、一色啓司、伊藤頭司、稲村春吉、今村創太、今村謙、今村朋子、今村美保、岩永英治、岩本日出雄、江藤潔、内田洋子、榎並とし子、大越翔太、大田理恵、大藪泰、小笠原啓、小川寛人、奥津勉、沖野佳子、加古結子、堅田浩巳、片山恵美子、片山哲雄、加藤久枝、川面賢、菊島紘子、公文道幸、古河志津子、小菅訓子、小林誠治、小林剛、斉藤和彦、桜井容子、佐藤正幸、佐藤良徳、佐野泉、志賀智江、柴田昌一、柴田寛昌、白石善子、新川馨、新藤啓二/新藤有美子、鈴木明、鈴木伸治、曾我正信、鈴木晴子、高橋眞司、高橋晃樹、高見沢弘子、田中克法、田中純子、田中信次、田中房子、田沼圭介、土屋博、寺島佐知江、東保万里、東保喜子、中澤潤子、中澤恵江、中澤泰明、中山勝矢/中山貞子、名執宗彦、西山裕美、野村公介/野村里美、橋本一枝、長谷川知之、長谷川光正、塙将一、早水利行、樋口和良、藤川みずき、藤森和子、古旗誠、細田道子、正岡幸伸、丸山恵子、丸山光子、水谷年江、宮崎進、武藤嶺子、棟広隆、村瀬統一、村瀬道雄、孟学琳、森下ヨシ子、森田厚、森田昌史、森谷すみ、矢島保道、安田紀彦、梁瀬正彦、矢野榮子、矢野豊、山科俊子、山田一夫、吉澤美智子、吉濱優子(白梅いずみ幼稚園園長)、吉見葦歩、吉本真樹子、依田康子、渡辺千春、渡部清

(教会関係)

キリスト教保育連盟神奈川部会、宗教法人横浜シオンキリスト教会、チャーチ・オブ・ゴッド川崎キリスト教会、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団篠原教会、日本キリスト教会横浜海岸教会、日本基督教団浦和東教会、日本基督教団鎌倉教会、日本基督教団久里浜教会教会学校、日本基督教団小岩教会教会学校、日本基督教団清水ヶ丘教会、日本基督教団新丸子教会、日本基督教団辻堂教会、日本基督教団田園江田教会、日本基督教団田園調布教会、日本基督教団西千葉教会、日本基督教団藤沢教会、日本基督教団松戸教会、日本基督教団翠ヶ丘教会、日本基督教団目白教会、日本基督教団目白教会 婦人会、日本基督教団横浜磯子教会、日本基督教団横浜上原教会、日本基督教団横浜上原教会 婦人の会、日本基督教団横浜大岡教会、日本基督教団横浜港南台教会、日本基督教団横浜指路教会、日本基督教団横浜本牧教会、日本基督教団六角橋教会、日本聖書神学校学生自治会、日本バプテスト厚木教会、日本ルーテル教団戸塚ルーテル教会、野毛山キリストの教会

(学校関係)

青山学院初等部、青山学院幼稚園保護者会、厚木幼稚園、かえて幼稚園、霞ヶ丘幼稚園、片瀬のぞみ幼稚園、一般財団法人神奈川県私立学校中高等学校協会、上星川幼稚園、関東学院小学校、関東学院のびのびの園、関東学院六浦小学校、関東学院六浦中学校高等学校、菊名愛児園、鶴沼めぐみルーテル幼稚園、呉竹鍼灸柔整専門学校、相模翠ヶ丘幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、早苗幼稚園、サレジオ学院幼稚園、サンモールインターナショナルスクール ソーイングクラブ、サンモールインターナショナルスクールPSG、捜真小学校、捜真女学校中学部高等学部、ドレーパー記念幼稚園、日本聾話学校、フェリス女学院大学奨学会、フェリス女学院中学校・高等学校バザー部門、本牧めぐみ幼稚園、目白平和幼稚園、横須賀学院、横浜愛隣幼稚園、横浜英和学院、横浜学院幼稚園、横浜共立学園、横浜訓盲学院PTA、横浜三育幼稚園、横浜女学院中学校高等学校、横浜雙葉小学校、横浜雙葉中学・高等学校

(その他団体)

アサヒタクシー(株)、アンケル・ジャパン(株)、株安藤・間 横浜営業所、(有)今村塗装工業、株オーチュー、株大山組建材、株加藤機器製作所、加藤回陽堂、神奈川韓国青年商工会、株神奈川クッキングサービスセンター、神奈川県眼科医会、木嶋量店、株協同ビルテック、株コンセプト、宗教法人医王寺、株新光、株仁友社(MJデザイン研究所)、株清光社、株泰山園、株ダスキン横浜、テクタイト(株)、東洋観光(株)、樋口皮膚科、株ファンケル、(有)増山住設、株松本木工、株ユニック、ユリフラワー川上教室、三菱電機株、宮崎ピアノ工房、横浜関内ライオンズクラブ、株吉田電機、渡辺商事株

〔特別寄附金〕

(財みずほ教育福祉財団)

《賛助金》5,172,538円

《特別寄附金》450,000円

《合計》5,622,538円

〔現物寄附〕(50音順、敬称略)

●合資会社中山光学堂(拡大読書器) ●平成28年度理療科卒業生(自動手指消毒器 1台)

〔その他寄贈品〕(50音順、敬称略)

株明石書店、赤堀智見、株安藤・間 横浜営業所、社会福祉法人桜雲会、株オーチュー、株大山組建材、社会福祉法人岡山ライトセンター、春日主計範、神奈川韓国青年商工会、関東学院六浦小学校、後藤訓子、サントリービバレッジサービス株、JX不動産株、一般社団法人社会応援ネットワーク、株ジャパンビバレッジセントラル、公益財団法人すこやか食生活協会、鈴木仁、株ゼネラルアサヒ、(有)仙良菴、株泰山園、高橋実、田口謙吉、田口三津子、田中房子、土屋博、TBSラジオ編成局編成部、東京ガス株、富田香(平和眼科)、豊橋ともしび会、株ニッポン放送、公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団、社会福祉法人日本点字図書館、社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会、日本放送協会、社会福祉法人日本ライトハウス情報技術センター、ねむの木学園、発砲印刷やまゆりの会、東日本電信電話株、平泉恵美/平泉璃蘭、NPO法人藤枝光文庫、藤巻紀子、(有)プロフィット、文化放送、毎日新聞社、松浦奈美子、むつき会、孟学琳、社会福祉法人山口県盲人福祉協会、ユニバーサル絵本ライブラリー ユニリーフ、NPO法人ユニバーサルデザイン絵本センター、社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会、株吉田電機

〔ご招待〕

神奈川県遊技場協同組合 / 神奈川福祉事業協会(神奈川フィルふれあいコンサート)

神奈川福祉事業協会(国立ポリシヨイサーカス)

東京海上フィルハーモニックオーケストラ(東京海上フィルハーモニック定期演奏会)

〔公演・体験等〕

●横浜マリノス株(サッカー教室) ●裏千家SHUHALLY 松村宗亮 庵主(茶の湯体験) ●日本フラワーデザイナー協会(花の宅配便事業)

ご協力をお願い
2018年度
賛助会員

私どもの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせて
いただいております。よろしく願い申し上げます。

【年会費】法人(1口)10,000円/個人(1口)1,000円(口数は問いません)

【お支払い方法】・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)
・現金

【その他】会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。

寄付金控除については「所得控除制度」と「税額控除制度」のいずれかの制度をご利用いただけます。

【お問い合わせ】横浜訓盲学院 事務局 TEL.045-641-2626